

# 逗子海水浴場のあり方検討会 概要

平成 27 年 2 月 19 日（木） 14：30～16：30

逗子市役所 5 階 第 7・8 会議室

## 1. 開会

- ・ 事務局より、あり方検討会は傍聴できることと、メディアの頭撮りについて説明。
- ・ 事務局より、あり方検討会最終報告書が 2 月 9 日に座長より市長へ提出されたことの説明。
- ・ 海岸組合の新代表理事の紹介。

<海岸組合> 海岸組合の新代表理事となった菊池です。皆様にご心配なさっていることですが、原前代表理事の基本的な考え方を踏襲していきますので、ご安心ください。さらに、組合としても、色々な意見を言える風通しの良い組合を目指していきたいと思うので、よろしく願いいたします。今後 2 年間、新しい体制で運営していくにあたり、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## 2. 市長あいさつ

<市長> 1 年に渡りまして、逗子の海水浴場について、その将来について、皆様に真剣にご議論いただきました。様々なご意見が交わされて、大変熱気に溢れていたと聞いております。先般、座長より最終報告書をいただきまして、隅から隅まで読みました。そこに書かれた多くの率直な意見を、しっかり受け止めなければと思います。1 年間、お忙しい中あり方検討会にご出席いただき、誠にありがとうございます。重ねてお礼申し上げます。

今後の方向性について、まず条例に位置づけられたルールについては、今年も維持することを前提としており、市議会第 1 回定例会にも改正案を提出していません。規則に位置づけられる海の家営業時間・音楽については、最終報告書には現状維持や緩和等、様々なご意見がありました。まず確認しておきたいことは、昨年この厳しい条例によって、逗子海岸の治安が回復し、市民の皆さんが安心して暮らし、そして海を楽しめる環境が戻った、子ども達の笑い声・歓声が戻った、これを維持しなければならないということが大前提となります。その一方で、市民の方だけでなく市外から訪れる人にとっても、素晴らしい海岸というのは逗子の地域の最大・大切な資源です。その為、海水浴場・海岸をいかにして居心地の良い、より良い場所にするのか、ということも重要な課題となります。従って、今の時点では営業時間・音楽について、最終的な判断を出していません。今までの議論を踏まえると、海岸組合が条例・規則を遵守し、それを有言実行できるのか、海の家に遵守させるために厳格なルールを提示・運用できるのか、これらが最大の課題だと思います。それがしっかりと示され、守られる担保が取れなければ、多くの方にとって緩和することに対する理解はできないでしょう。先程、新代表理事が前任者の考え方を踏襲していくとおっしゃっていましたが、市としては海岸組合がその様な組織体制を作り、統制が取れるのかを見極めなければなりません。一方で、どの様にしてしっかり遵守することがで

きるのかということ、海岸組合と2月中には詰めるように経済観光課に指示をしています。その内容を受けて、改めて営業時間・音楽について、最終判断を行います。

来週から市議会が始まり予算の審議が行われますが、警備体制を始めとした今年の予算は昨年の当初予算に沿った形として、必要な予算を計上しています。あとは、先にも述べたとおり、具体的にどの様にルール遵守を実行できるかを、しっかりと吟味した上で、方針を出したいと思います。

今後の大きな流れとしては、3月中旬に新宿や逗子等、近隣自治会の方を中心に意見交換会を設けたいと思います。そこには、この場に参加できない方もいらっしやると思うので、多くの方との意見交換の場にしたいです。3月20日には、海岸組合の出店受付と総会が開催されると聞いており、その時点でそれぞれの海の家がルール遵守等に関してどの様に考えているのかも重要となります。それを踏まえて、4月4日にはまちづくりトークを予定しており、今年の海水浴期間を迎えるにあたって、条例・規則・ルール遵守方法等がある程度まとめたものを市民の皆さんに提示して、意見交換を行いたいと考えています。このあり方検討会は今日をもって一区切りとなりますけども、3月には改めて条例に基づく会議を新たに立ち上げて、引き続き議論を進めていきたいと思っています。3月の「広報ずし」で市民メンバーの募集を行い、それぞれの団体にはメンバーの推薦依頼を行って、3月中旬には第1回を開催して、そこで先程申し上げた様な規則の内容を含めて、説明をし、議論をおこなっていただきたい。以上の様な流れで、今後も議論を行っていきます。

去年は皆様にご協力いただいて、パトロールも毎週のように参加していただき、本当に安心して安全に遊べる海水浴場が回復しましたので、目指すべきはこれをより良い方向にどの様に持っていくか、市、市民、海岸組合等で同じ方向を向いて努力することが重要となります。そのベースは、この1年の議論の中でできたのではないかと思います。一番大きいと思ったのは、一昨年までは市民の方にとっても非常に歓迎できない海となってしまっていたのが、これによって改めて市民の方が自分の住んでいる地域の海について、真剣に自分のこととして考え、行動し、意見を交わし、皆の力でより良い方向に持っていきこうという動きが始まったことだと思います。これは本当に一番大きな成果であったと思います。スタートラインに立ったということで、これからも今日のメンバー、市民、事業者等と一緒に、多くの人に良かったと言われる海を目指していきたいです。まだまだ、道のりは長いですが、市長としてリーダーシップを取って、市民の方だけでなく市外から訪れる人に、昨年よりも良くなったと言われる、市内外からの評価を高められるようにベストを尽くしたいと思います。

1年間という長い期間、皆様には負担も多かったと思われかもしれませんが、是非今後とも、皆様の協力を得ていきたいと思っていますので、切に切によろしくお願いいたします。本当に1年間、ありがとうございました。

<事務局> 市長は10分程度時間があるので、質疑応答という形ではないが、1年間あり方検討会に参加されたメンバーの皆様なので、この機会にご意見等あったら、挙手して発言していただければと思う。

<市長> 正直、非常に悩ましいです。本日、地元新宿からの要望書を受け取りました。地元にと

っては、10年来ずっと不安を抱えて夏の時期を過ごしていたので、ようやく安全・安心となったのに規則が緩和されることで、また元に戻ってしまうことへの不安というのは、本当にそのとおりであると思うし、それは理解しています。その様な中で、それぞれ様々な意見がある。

私の立場から申し上げますと、1月の臨時議会の所信表明でも申し上げましたとおり、逗子は人口減少・少子高齢化社会をどのやって乗り越えていくか、というのが非常に大きな課題となっています。人口は2009年をピークに徐々に減少し始めており、高齢化率については昨年30%を超え、県内でもかなり進んでいます。経験豊富・活動的な高齢者の方が地域の活動を支えてくださっていたりするので、それは悪いことではないのですが、一方で若い世代が減ることは、将来の財政的な見地からすると、人口を維持したとしても厳しいかなと思います。4月から総合計画というものをスタートさせ、その中で人口維持を目標に掲げました。ですが、維持するというのは、結局生産年齢人口が下がり高齢化が進む状況では、税収は縮小となるでしょう。維持するという事実すらも、日本全体で同じ現象が加速的に進む中では相当厳しい状況でしょう。ただ、逗子の場合には非常に恵まれた環境があり、市外の人から見れば魅力、ポテンシャルは他の街に比べても高いです。そうでありながらも、地域の資源をより高めて魅力ある街を作ることを、かなり意識的に進めて行かないと人口の維持はままならないということだと思えます。その意味で先程申し上げたとおり、逗子の海岸というのは、本当に最大の資源であり魅力なので、これをいかに多くの人でしっかり見守り続けるのは欠かすことのできないテーマです。昨年は大ナタを振るってバツサリとやったが、皆様の許容できる範囲での少しずつの緩和、どこであれば安心・安全を維持できるかを模索していきたいと考えています。ただし、その前提は先程申し上げたとおり、条例・規則・ルールがいかにして厳格に守られる体制が、市はもちろんこと、海岸組合もしっかりと構築できるのかということに尽きる。

- どうしても議論が営業時間と音楽に対して集中してしまうことは、この会議に1年間出席していた中では、市全体として逗子海岸をどうしていくかを考えるときに、揚げ足を取るようになってしまった。海岸組合が守れば良い、海岸組合がもしダメであればもうダメという話では残念。極端なことを言うと、組合は組合でやってくれ、市や観光協会は市や観光協会でやるので邪魔しないで、ということでもやっても良い。盛り上げるということが人を沢山寄せ付けるということでもないけれど、2020年の東京オリンピックを考えると、逗子海岸の中長期を見て、葉山・鎌倉・江ノ島と比べて一番街の中心に近い海の魅力を世界に知らせるチャンスだと思うので、下水道の問題等に、予算の問題は当然あるだろうが、魅力を発信するためにもっと投資して欲しい。

<市長> 予算については厳しいので、言い訳はしません。また色々場面で皆様と話をし、より良い方向に進みたいと思います。

——— 公務の為、市長退席 ———

### 3. 議題

#### (1) 中長期的なあり方について

- ・ 事務局より資料・配布物確認。
- ・ 座長あいさつ。
- ・ あり方検討会は今回で最終回であること
- ・ 市長に2月9日に最終報告書を提出したことの報告。

<座長> 今日は皆様に、今まで議論を進められなかった中長期的なあり方について議論をしていただきたい。具体的には、最終報告書 38 ページに項目があるもので、これにつきまして、ご意見がある方や、アンケートでご意見を下さった方でまだ説明の足りない方等にも、是非発言していただきたい。事務局に確認だが、今回の議論はどの様なかたちで記録されるのか。

<事務局> 最終報告書には項目の頭出しをして既に提出しているのので、今回の議論については会議概要に残す。

- あり方検討会は、逗子海岸、逗子海水浴場はどの様な姿が理想なのかという根本を示さなければ、意味がないのでは。利害関係者等の限られた人の意見だけではなく、市民全体の海水浴場はどうあるべきかという意見を、意識調査で集約する必要があると思う。その上で、意識調査の設問の作り方や、意識調査の結果を受け止めてどの様に活かすかを知る専門家を加える。その様に昇華していかなければ、いつまでも両論併記のままで終わってしまう。海岸の問題は海岸組合だけの問題ではないので、意識調査の実施を検討することを望む。

<座長> ありがとうございます。他にご意見ある方は。

- 元々、海岸での飲酒禁止がけしからん、としてこの検討会に参加した。それは覆らなかったけれども。先程のご意見に賛成で、海岸というのは逗子の一番核、人間で言う人格みたいな部分である。海岸をどの様にするのか、ということ、利害関係者間の不満を最小限にする調整で留めてしまうと、結果的に特色のないものとなる。海岸の将来に向けた新しい像を描くには、市民の声を活かすことは当然で絶対に外せないが、素人だけでは限界があるため、有識者や強いリーダーシップを持つ者等の、考えを持つ者を加えることで、新しい像を描くことができるのでは。

東京では、市街地再開発で、例えばエリアマネジメントという考え方がある。これは従来屋外広告等できなかった場所に事業者が広告掲載できるようにし、広告収入でその場所のメンテナンス等を行うものである。海岸は、色々な方のゴミ拾い等の努力で、昔に比べると大分綺麗にはなったが、まだもの凄く綺麗になったわけではない。特に海水はけっして綺麗だとは思えない。なので、対策に予算が必要であるならば、新しいお金の持っつき方を考えて、ゴミ拾い等から一歩進んだ環境・美化対策等が考えられればと思う。

- 中長期的な項目については意見を出したままで良いのか。各項目に対して何らかのアクションがないと、1年間やってきたことが無駄になってしまう。できないものや、検討していないものはそれで仕方がないと思うが、それさえ分からなければ次に繋げようがないので、コメントが欲しい。以上のことをあり方検討会の意見としていただきたいと思う。

- 賛成である。
- 新聞に警備予算の規模は昨年と同様だと書いてあった。予算に関する項目について、どの程度取り上げられるのか、どの程度考えているのかをあり方検討会メンバーに示して欲しい。そうでないと、自治会で報告しなければならないが、聞かれた際に説明ができない。市の方針を示して欲しい。
- 個人的な考えだが、中長期的なイベント等の話も出てくるが、その様な物は必要なく、あえて何もしないという選択肢もあると思う。無理やり人を集めずとも、普段の海は、親子・子ども達が自分で遊びを考えたりするとても良い場所で、冬になると海岸東側は何も無くても夕陽を見る人で一杯になる。何もないことに憧れてこの街に住み始める人もいるし、あえて何かやらずとも何もない海岸に人が集まり、そこから文化が生まれることもあると思う。海水浴場はもちろん必要だが、最低限の事はやっていただいて、何もないのを好む人が集まるビーチというのもあるのではと思う。

<事務局> ご要望いただいたので、予算に関する項目と中長期的なあり方に関する項目について、現状の市の考え方を取りまとめて、後日皆様に提示する。

- 内容は総論的なものではなく、各項目について書いていただきたい。

<事務局> その様にする。

- これからだとは思いますが、あり方検討会の意見を汲んで市の関係部署で検討する、或いは市民が参加する会議で検討するという様な方針は、市長から出ているのか。

<事務局> 次の議題となるが、新たな検討会を3月中には立ち上げ、その中で海水浴場の振興に関する事も所掌事項に入っているのです、その中でお話をいただければと思う。

- 市長は先程、海を最大の資源と認識していると言っていたが、それは経済的資源としての意味合いも大きいことだと考えている。市長は特に触れることはなかったが。安全を優先するのは確かだが、同時に街の繁栄も大切なので、次の検討会に商工会や海岸組合の繁栄について分かる人も参加する必要があると思う。

<事務局> 次の検討会にも商工・観光関係団体の方にも参加していただくことを考えている。

<座長> 最後のあり方検討会なので、メンバーが1人ずつコメントをいただければ。

- 市民だけでなく様々な立場の方が集まり、1つのテーマについて議論・検討する会議に参加したのは初めてであり新鮮であった。皆様が立場に拘らず本音で議論していたのが良かった。そこから出てくるものは、それぞれの立場からは受け入れ難いこともあると思うが、海や逗子の街を良くしようという思いが、1つにまとまっていたと、特に夏以降に非常に強く感じた。非常に心強いし、流石逗子の市民だなと思う。今後は、せっかくこの様に色々なジャンルの方が集まったので、次の活動はプロジェクトの様なものを作っても良いのではないかと。後は、市民の立場でどの様なことをやっていけるかを、去年の夏以降の活動から経験したことを踏まえて、今年の夏も頑張っていきたい。
- 今までの意見交換を伺っていて、市長の話もあったが、街としては繁栄していく必要がありながら、逗子の海自体が栄えたり、発展しなくても良いのかなと思った。繁華街の様に人が賑やかに集まる様になるのは何となく嫌だ、という気持ちは共有されていると思う。夏は風物詩ということもあり多少は賑やかでも良いと思うが、それ以上人為的に何が

行われている海ではある必要は無く、有りのままの海に惹かれて来る人が居るのは事実だと思うので、定住人口の増加や、観光で訪れる人も増加するのではないかと。有りのままの海に惹かれる人が来ることにより商店街等の街中が自然と賑わう仕組みを考え、海だけでなく街全体で補足してお金が集められれば、先程のご意見にもあった環境保全等で次のステップに進むための資金を生みだせるお金の流れも、建設的に考えていけるのではないかと考える。

- 一昨年までの海は若い学生のライフセイバーを預かっている身としては非常に心配な事ばかりであった。しかし、昨年は全く心配が無く、学生に安心して仕事のできる環境を与えていただいて感謝している。今年のシーズンを迎えるに当たって、月に1・2度、海岸で若い者が頑張っている練習をしているので、海で見かけた際には声でもかけて応援していただければ、と思う。今年の夏も無事故で終われるよう、全員で頑張っていくので、よろしくお願ひしたい。
- 中長期の話ということで、10年ほど前に一般の幅広い年齢層の市民が、大体180名参加して20年後の街を考える「逗子の未来を考える会」というものがあり、2年ほど前に解散したのだが、今も実行するべく活発に活動し続けているのは30~40名となっている。検討会や協議会というのは、どの様に担保し将来に向けて実現していけるかが大切であり、非常に難しい。

海に関しては本当に変化していると思う。潮が高くなったことや、養浜をしてはいるが沖の砂が削れ、恐らくその影響により浜に岩が打ちあげられたり、海岸西側の波消しブロックが壊れたりしており、潮・砂の流れが変化してきていると思われるので、考えて対策を急がないと厳しいのでは。今の段階では市は、国・県に要望することしかできないのかなと実感している。

- 幼少の頃から逗子に住んでいる方は、時間があれば海に散歩に行き、昔を思い出して気持ち的に浄化されるということがある。犯罪者等でもその様なことはある。逆に言うと、海に悪い思い出があるようだと、海という逗子の資源が損なわれてしまう。逗子で無くとも、海に面した場所に住んでいた方が、幼少の頃のことが成長した際に良い思い出になるように、安全はしっかり確保していただきたい。
- 委員としての立場から海に触れたり、考えたり、意見を集めることで精一杯であった。
- 子ども達と接することは多いが、大人の会議に参加するのは緊張した。これだけの方達が、ファミリービーチということで、子ども達の為に安全な海岸を作ろうと議論していただいたことは子どもを持つ親としてありがたく感じた。それに甘えずに、子ども達もルールを守り、親も手間がかかってもルールを守ることが浸透するように、団体に戻って言えたらと思う。

今日の午前中に開かれた会合では、年々入会者と、入会して遊ぶ子ども達も減少しているという話が出ていた。特に逗子小学校区の子供達達は、4年生を過ぎた位の男の子は、野球をやるか、サッカーをやるか、中学受験の塾に通うか、という3本立てとなっている。子ども達が、チームに入るとかでは無く野球をやったりする様な自然な遊びができ、また何もやっていない子どもが居るのかもしれないが、何処にというのが良いかが分からず引

き籠っているかも知れないので、海岸でと言えるような環境を作って行きたいという話も出ていた。

- 海岸沿いのマンションに住んで32年になり、目の前の海で子ども達も毎日遊び、元気に育った。当時みたいに、子どもだけでも安心して遊ばせられる海水浴場を目指して頑張ってきたが、この会は私自身、音楽・営業時間や飲酒など目先のことの善し悪しを考えるので精一杯であった。皆様のお話を伺い、もっと長期的に逗子海岸をどの様にしていくのかを考えていらっしやったので、凄いいと思っている。今後も住み続けるつもりなので、良い海にして欲しいと思う。

<海岸組合> <菊池代表理事>

初めてこの場で発言する機会をいただき嬉しく思う。皆様が逗子海岸のことを真剣に考えてくださっている。私は、分かっている範囲でも祖父の代、明治の頃から平成までずっと新宿に住んでおり、海岸が好きで幼少の頃はよく行っていた。先程のご意見のとおり、葉山の防波堤ができてから、ここ10～15年で砂浜が凄く減ってきており、有識者の話によると場所によっては増えていることもあるらしいが、そのことを凄く心配している。未来の子ども達が、逗子の財産として誇れる海岸とするにしても、砂浜が無くなってしまっただけでは元も子もない。様々な会議に出て話を聞くと、茅ヶ崎や江ノ島に比べて逗子は養浜に投入する砂量が非常に少ないということだった。皆様からの声を大きくしていただき、是非とも海岸を守りたいと思い、また次の検討会でも将来に向けて発信して行きたいので、ご協力お願いしたい。

<原前代表理事>

これまで1年間、あり方検討会もそうだが、ほとんどを海岸組合と海の家のことについて議論していただいて、本当に感謝している。今後私は一組合員として、代表理事と役員をサポートに回り、今後の海水浴場について考えて行きたいと思うので、海岸組合をよろしくお願いしたい。これまでありがとうございました。

<横須賀土木> 海岸の管理者ということで参加させていただきましたが、皆様のご意見・ご要望等に色々な面で中々応えきれていないのかなと感じた。

<座長> 行政関係の皆様には、毎回あり方検討会という直接メンバーの声を聞ける場に参加していただき、感謝している。

<鎌倉保福> 保健福祉事務所は、海水浴場や海を家の許認可を持っている。最後ということで少し話をすると、一般的には海水浴場は集客と安心性・衛生面は反比例する。やはり、人が大勢来ると、それだけゴミ等が増える。また海の家は、本来の意味からすると海水浴客のための利便施設という話になるが、実際には議論にも出た様に、市全体のこと等もあるので、その辺りをどう調整し、落とし所をどの様に見つけるのかということだろう。

<横三C> 皆様の逗子の海岸を良くしたいという思いが凄く伝わってきた。横須賀三浦地域県政総合センターは海水浴場に関する許認可権は持っていないが、良くしていきたいという思いはあるので、地域課題解決の視点から見て今後も協力していきたい。

<逗子警察> 昨年、逗子警察署に異動してくる際に、逗子海水浴場は日本一治安の悪い海水浴場だと聞いて異動してきた。感想としては、平成25年の資料を見ると、周辺住民への迷惑行為に

ついでにレベルは非常に高かったが、暴力団の抗争が起きる等、いわゆる治安が悪い、風紀が乱れているということでは無かったように感じた。治安の決め手は暴排、違法団体の排除である。市が一石を投じて、これだけ治安を回復した。市の振興との兼合い等もあるとは思いますが、勇気を持ってあたることが大事。皆様の方が、どの海の家が良くない等の自浄に詳しい。警察は道徳では無く法律に引っかかるものしか言えず、立件しないとダメである。

<市民協働部> 1年間熱心にご議論いただき感謝している。その中で色々宿題もいただいているのでこれからも取り組んでいく。先程から話が出ている養浜対策については、県に要望し、毎年砂を入れて貰っている状況である。今年の夏の海水浴場については、皆様より大変ご意見をいただいているので、海岸組合とも協議しながら、皆様にご納得いただける様なルールを作りたい。また、今後ともご意見・ご提案いただければと思うので、よろしく願います。

- かなり厳しい意見を、座長や海岸組合代表理事に言っただけでは、普段は立場的には同じ意見の方々と議論することが多いのだが、今回は違う意見の方々と議論ができたのが良かった。最終報告書を読み直しながら、皆様が本気になって逗子海岸のこと考える機会になったと思い、今日は特に良かったと感じている。色々な方と意見を交わし、皆様が誇りに思えるような逗子海岸と一緒に考えて行きたい。
- 逗子海岸のあり方について、真剣に考えたのはこの1年だった。逗子で生まれ育ち、1年のうち12分の10は好きだが、海水浴場開設期間中の2カ月は嫌いで、特に夜は本当に怖かった。この前、久し振りに行って見たら、色々な人が海岸を散策していたりして、皆伸び伸びとしていて全然違った。2カ月間、それなりに安心できるようになると良いと思った。

私があり方検討会に参加したのは、推薦も受けたこともあるが、3年位前に海水浴場期間を振り返る近隣自治会と海関係者の会議に参加し、そこでルールが全然守られていなかったことを知りあ然とした。2013年のルールの骨子作りにも関わったが、あの様になってしまい、反省として2013年のルールは甘かったと感じたからである。

この1年間、この歳になると一方的な考えで突き進んでしまうこともあるので、皆様の幅広く弾力性のあるご意見を伺って良かった。夏の期間の土日のパトロールは非常にきつかったが、参加者の多さに本当に驚いた。最後に、海岸については近所の方は感心があるが、沼間や池子の方達は余り感心がないと感じたので、この会にはその様な方々も加えた方が良いのではないかと思う。そうすれば、また違う意見が出て来るのではないか。

- 市民意識調査を行い、できれば専門家を入れて、意見を集約し、それを受け止めてステップアップする様な方策を取って欲しい。
- 団体の現状を報告すると、子ども達が海岸に遊びに行ける様になって良かったと言う意見もあるのだが、どちらかと言うと塾帰りの子どもを迎えに行く際の駅周辺の治安についての議論が活発になるので少し寂しい気もしたが、皆様が海のことを真剣に考えて議論していられるので安心できる。条例に関する考え方については、若干の違いはあるけれども皆様と同じ方向であると感じたが、中長期的なあり方については違う意見で、これか

ら先逗子の海岸をどうするのかの意見をまとめる方が難しいのではと感じた。私自身、逗子の海が大好きなので、今後も感心を持ち続けたいと思う。

- どの様な立場で参加して良いのか最初の頃は悩んでいたが、一番海岸に近い新宿の方々のお話を沢山伺えたというのは、本当に貴重であった。来夏に市内外の方々に、ルールを知っていただいて来ていただくことに向けて少しずつ動き出しているが、やはり地元の方々の理解をいただかないと実施できないので、ご協力いただくとと思うが、よろしく願います。
- 初めてこの様な会議に参加させていただき勉強になった。会社でこの話をすると、不思議なことに皆羨ましがる。人間はやはり、ボランティアみたいことをやりたくとも、中々関わる機会というのがない。今回自分の好きな、特に海水浴場・海岸のことを色々発言できる場があった。今後とも関われるのであれば関わりたいと思う。
- 多様性、色々な立場で様々な考えの方いらっしゃることが強く印象に残った。適切な言い方かわからないが、楽しませていただいた。会社で会議を行い何か課題を解決するのは日常的だが、やはり一時的であり限定的である。それと比べて、あり方検討会は地の縁で、これから何十年も何処かでお会いする可能性のある方々ばかりであり、その様な意義で言うとうれやうと思うし、それなのにこれだけ紛糾するのも中々に。これからは機会があればと思う。
- 市長も言っていたが、市民の方が海のことを考えてくれる様になったことは大きい。海岸のことを考えるときに、夏だけでなく文化等も含めて、1年を通して逗子の海岸を見守っていただきたい。これは、報道の方にも言いたいことである。
- 経済活動の自由は保障されているが、それを公共の福祉の下に制限せざるを得ない、と言うことの善し悪しはあると思うが、それは最小限であるのが良いのかなど。あと、以前発表した、市民まつりの際に実施したアンケート結果について、市民の方が各年代1～3回位逗子海岸に来ている、というのは非常に少なく感じた。市外・県外の方だけではなく、市民の方にもっと逗子海岸に来てもらえるような方策やPR、環境作りが必要。市民の方であれば、海岸を良くしよう、近隣の方に迷惑かけないようにしよう、という気持ちで来てくれるのではないか。今後も皆様に協力していただき、良い海岸を目指して行きたい。

<座長> 皆様、この1年間本当にありがとうございました。様々なことをやるにしても、市の財政状況が一番のネックになっており、お金がかかる事業というのは難しい。それを解決するためにも、皆様からのアイデア等を集約して、具体的なご意見を出していただければと思う。また、冬の海の夕陽はとても綺麗なので、皆様で沼間や池子、山の根の方等を誘い、市民の方にももっと逗子海岸をPRしていただければと思う。

## (2) 今後の海水浴場のルールの協議・検討を行う組織について

<事務局> 事務局より資料の説明

<座長> 質問等ある方は。

- 海岸付近には18のマンションがあり、世帯数は戸建と相当する程である。その中の8つは町内会に加入しているが、残りは加入していない。マンションも海水浴場の影響を受け

るので、次の会にはマンションの代表を入れて欲しい。

- 意見を集約するという事は、どこかで多数決の要素が出てくる可能性があると思うので、メンバーに関しては今まで以上にバランスを取り、バイアスが掛からない様に細心の注意を払って欲しい。
- 近隣住民だけが市民ではない、ということは考えていただきたい。
- 現実として、一番影響を受けるのは近隣住民であることは間違いない。

<事務局> メンバーに関しては、県のガイドラインの中でメンバーに関しても触れており、また市民メンバーの割合についての規定もあるので、それらに応じた形とすることを考えている。

- 海岸組合、海の家ルール遵守の仕組みについて、今後決まったことを開示して欲しい。

<事務局> 1年間、12回に渡ってあり方検討会に参加していただいたメンバーの方に、改めてお礼申し上げます。今後は新たな検討会で、この場でも出た様々な課題や提言を受けて、ルール等について検討を行っていきたいと考えているので、よろしく願います。

<座長> 1年間ありがとうございました。

出席者一覧

所属		職名	氏名	備考	
1	公募の市民	市民メンバー	菊井 健一		
			熊岡 寛展		
			大島 純一		
2	観光・商工団体	逗子市観光協会	事務局長	田代 朋子	
		逗子市商工会	副会長	三宅 譲	
		逗子市中央商店街連合会	会長	桐ヶ谷 覚	欠席
3	学校関係団体	逗子市小学校校長会	小坪小学校長	高橋 和美	欠席
		逗子市中学校校長会	逗子中学校長	服部 純子	欠席
		逗子市PTA連絡協議会	池子小学校PTA会長	辻本 順子	欠席
			久木中学校PTA副会長	横山 奈緒子	
4	逗子海岸近隣 町内会・自治会	逗子市新宿町内会	暫定再生委員会委員長	石井 康生	(代理) 東海 邦彦
		下桜山交友会	環境担当部長	菊池 伸介	
		逗子6丁目の会	会長	徳本 恒徳	欠席
		逗子7丁目東自治会	顧問	原田 義郎	(代理) 顧問：菊池 俊一
5	児童・青少年 関連団体	新宿地区青少年育成推進の会	会長	安重 宣子	
		新宿子ども会	代表	手島 麻由子	
		逗子市民生委員児童委員協議会	主任児童委員	飯野 幸	
6	防犯団体	逗子市防犯協会	会長	和田 修芳	
		逗葉地区保護司会	会長	岸本 光瑞	(代理) 監事：足立 泰秀
7	海岸にて活動する 事業者	逗子海岸営業協同組合	代表理事	原 敦	菊池 千春
		逗子マリン連盟	代表	小林 伸之	
8	関係行政機関 の職員	神奈川県逗子警察署	地域課長	古橋 雅之	
		神奈川県横須賀三浦地域 県政総合センター	企画調整課長兼 商工観光課長	中羽 加代子	
		神奈川県鎌倉保健福祉事務所	生活衛生部長兼 環境衛生課長	奥津 幸夫	
		神奈川県横須賀土木事務所	許認可指導課長	徳永 義宏	
9	市職員	市民協働部	部長	福井 昌雄	
10	その他市長が必要 があると認めた者	逗子サーフライフセービングクラブ	顧問	歌代 光雄	
		逗子30'sプロジェクト		田中 美乃里	
		ずし60'sプロジェクト		深澤 忠房	

## 事務局

所 属	職 名	氏 名
市民協働部	次長 生活安全課長事務取扱	高橋 佳代
経済観光課	課長	岩佐 正朗
経済観光課	経済観光係長	鈴木 仁
経済観光課	主事	池田 祐一